



湾岸・アラビア半島地域ニュース

クウェイト：ジャービル国防相による国内基地使用禁止発言 (6月12日付現地各紙)

1. 6月11日、ジャービル国防相は、米国側からの申し出はないと強調しながらも、もし米国がクウェイト国内の基地の使用を要求してきた場合でも、クウェイトは他の湾岸諸国と同様、自らの領土の使用を許さないと述べた。
2. クウェイトはイランに近接しており、米国がイランの核施設攻撃を決定した場合、イランから報復を受けることを恐れている。
3. クウェイトは1991年の湾岸戦争以降、米国と同盟関係にあり、2003年のイラク戦争に際しては攻撃拠点となり、現在も多国籍軍に対する重要な後方基地を提供している。
4. 10日、クウェイトを訪問中のハッダード・アーデル・イラン議会議長は、米国による攻撃の可能性を否定しつつも、もし米国が攻撃のために湾岸諸国に展開する基地を使用した場合、我々はイランを防護するために、それら基地に対して対応することは当然であると述べる一方、湾岸の国が米軍に基地使用を許すとは信じないと述べた。
5. 先月、米国の同盟国であり、米海軍第5艦隊が駐留するバハレーンにおいて、下院が圧倒的多数で対イラン攻撃時の基地使用を禁止することを承認した。